

真木 正博先生のご逝去を悼む

日本産婦人科・新生児血液学会 理事長

安達 知子

日本産婦人科・新生児血液学会 初代理事長ならびに名誉会員の真木 正博先生が、令和元年(2019年)5月18日に享年満94歳でご逝去されました。

先生は、昭和51年(1976年)3月に秋田大学医学部産婦人科教室の第2代教授(現名誉教授)に就任され、本学会の前身である日本産婦人科・新生児研究会(1976年から1990年まで)の創立に関われました。昭和58年(1983年)9月14日ならびに15日に秋田市で開催されました第8回同研究会では会長を務められ、平成3年(1991年)に同研究会が本学会に発展しました際に、初代理事長に就任され3年間務められました。

何より、本学会の優秀演題賞「真木賞」は、先生の名前を冠する学会賞です。先生からの本学会への寄付金により設立されたもので、産婦人科、新生児・小児科領域の血液学の進歩ならびに若手研究者のモチベーションを高め、本学会の発展に多大なご貢献を賜りました。

先生の数々の輝かしい業績のうち、1985年にご発表された「産科DICスコア」(真木正博, 寺尾俊彦, 池ノ上克. 産科DICスコア. 産婦治療 1985;50:119)は、30年余りを経過した現在でも、本学会員のみならずわが国の多くの産婦人科医が利用し、多くの妊産褥婦の生命を守るのに役立っております。

いつも厳しくそして優しいご姿勢で、かつ、心に響くやわらかいご口調で私たちに多くのことをお教えいただきましたこと、誠に有難く思っております。これからも本学会の活動と発展をどうぞ見守ってください。

心より先生のご冥福をお祈り申し上げます。